

土岐市出身ピアニスト

水野貴文ピアノコンサート

「リストとショパンの調べによせて」



プロフィール

岐阜県土岐市出身。4歳よりピアノを始める。愛知県立明和高等学校音楽科卒業、東京藝術大学音楽学部器楽科卒業、同大学院研究科修士課程修了、ポーランド国立フレデリック・ショパン音楽大学 研究科卒業。第8回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA アジア大会金賞、ヤマハ賞受賞。第62回全日本学生音楽コンクール小学生部門名古屋大会第1位、全国大会にて横浜市民賞受賞。副賞としてサロンコンサート出演。第33回ピティナ・ピアノコンペティションE級全国大会にて金賞、併せて洗足学園前田賞、讀賣新聞社賞受賞。第67回全日本学生音楽コンクール高校生部門名古屋大会第1位、全国大会第3位。第24回日本クラシック音楽コンクール高校男子の部第1位、第2位なし第3位。同コンクール入賞者披露演奏会にて協奏曲大賞受賞。2017年デザインKグランプリコンクール第1位。副賞として豊洲シビックセンターホールにてソロリサイタル開催。これまでにセントラル愛知交響楽団と青島広志氏、角田鋼亮氏、茂木大輔氏指揮のもとピアノコンチェルト共演。2017年トリオ“PasiÓN”による室内楽演奏会を愛知、岐阜にて開催。2019年植村太郎氏とトリオ“PasiÓN”による室内楽演奏会を開催。東京藝術大学在学時、オーディション合格者による「第45回藝大室内楽定期」出演。これまでにA.ヤシンスキ、O.ギャルドン、P.ネルセシアン、A.セメツキー、I.ロマニウク、J.ルヴィエ、B.L.ゲルバの各氏のレッスンを受け研鑽を積む。これまでに東京、愛知、岐阜にてソロリサイタルを開催。留学時、在ポーランド日本大使館大使公邸にて演奏を行う。またポーランド各地にてコンサートの企画、運営を行う。これまでにピアノを奥村 真、原 佳大、故杉浦 日出夫、本村 久子、長谷 正一、東 誠三、Bronisław Kawalla の各氏に師事。ソルフェージュ、音楽分析を市原 京子氏に師事。現在は演奏活動、後進の指導に力を注いでいる。

～プログラム～

- リスト：愛の夢 第3番
- ショパン：練習曲 第3番「別れの曲」
- ショパン：アンダンテ・スピアナートと
華麗な大ポロネーズ 他

※プログラム等、予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

2026年1月24日(土) 開演14時(開場30分前)

下石公民館 ジョイホール
入場無料/申込不要



主催/お問合せ：下石公民館 (0572-57-5727) 岐阜県土岐市下石町 963-1